

○(南) 三玄院さんげん〔総見そうけんの南にあり、大宝えんかん円鑑えんかん国師しゆんをく春屋しゆんをく和尚塔所。浅野紀伊守幸長ゆきなな、森蘭丸もりらんまる長定ながさだ、森長門守忠政等為檀越ちやく〕

〔幸長は彈正少弼長政の男、号ス清光院春翁宗雲、居城紀州和歌山城、領三三十七万石、慶長十八年八月廿五日卒す。長定は森三左衛門可成の男、天正十年六月二日戦死、廿二歳、濃州岩村城主領二五万石。忠政たゞまさは蘭丸らんまるの弟、寛永十一年七月七日卒す、五十七歳、作州津山城主領二十八万石〕

客殿中間 墨画山水 等伯筆

礼間 同山水 同筆

勅使間 同人物 同筆

北間 同柳燕 同筆